

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 報告書

—誰もが安心して暮らしつづけられる介護保険制度を—

健生会・地域福祉サービス協会「聞き取り調査」プロジェクト

2014年12月27日

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査報告書

—誰もが安心して暮らしつつけられる介護保険制度を—

2014 年 12 月 27 日

健生会・地域福祉サービス協会「聞き取り調査」プロジェクト

【目次】

1、概要報告

- (1) 目的
- (2) 期間と方法
- (3) 集約数
- (4) 結果の概要

2、調査所見

- (1) 制度が変わることも内容も周知されていない
- (2) 専門性のあるサービス提供こそが介護保険制度に期待されている
- (3) これ以上の負担増は利用者・家族の生活を追い込むことになる
- (4) 安心して利用できる介護施設を更に充実することが必要

3、『「要支援」への予防給付はずし』に対する私達の見解と立場

- (1) あらためて調査から見てきたもの
- (2) 利用者がサービスを選べない—制度が利用者を選んでいる逆立ち状態の改善こそが必要
- (3) 憲法、人権保障の理念の立った検討と運用を

1、概要報告

(1) 目的

私達は介護保険制度が 2015 年 4 月から改定されるにあたり、要支援認定を受けている方への訪問介護・通所介護の提供方法を変更し、また「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」（以下「総合事業」）に切り替える等が準備されていることから、利用者・家族への直接の聞き取りを行い、実態を調査することとしました。

実施目的として以下を確認してとりくみました。

- ① 制度改定および第 6 期介護保険事業計画に利用者の声を反映させるための根拠資料とすること
- ② 医療介護総合推進法の内容を広く知らせるとりくみの一環とすること
- ③ 介護保険制度の枠内に限定せず暮らし続けていく上で求められている要望を集約すること

(2) 期間と方法

聞き取りは 2014 年 9 月から 10 月の約 2 ヶ月で実施しました。聞き取り方式のため、協力可能な方を優先しました。そのため無作為抽出法などによる結果とは異なることも想定されます。

聞き取りは日常的にサービス提供する事業所職員が行いました。尚、聞き取り記録から個人を特定できないように配慮しました。聞き取りの実施および結果情報の取扱いについてはサービス提供開始時の個人情報保護方針および個人情報利用目的の説明に対して同意を得た内容を遵守し、また同意を得た方のみに行いました。

(3) 集約数

健生会および地域福祉サービス協会の運営する病院・診療所・訪問看護ステーション・ヘルパーステーション、通所リハビリテーション、ケアプラン等 28 事業所から 93 人（内、要支援の方は 83 人）の利用者・家族の協力を得ました。

(4)結果の概要

ここでは要支援 83 人の聞き取り結果概要を報告します。詳細は別紙「調査報告(1～3)」をご参照ください。

①要支援認定を受けている方 83 人の内訳は、要支援 1 : 29 人 (35%)、要支援 2 : 54 人 (65%) でした。

②世帯では、独居 50 人 (60%)、老々15 人 (18%)、その他 18 人 (22%) となり、改めて独居高齢者が多数おられる傾向を確認しました。そのため聞き取り結果も独居の方からのものが多数となります。

③性別では、男性 30 人 (36%)、女性 52 人 (63%) でした。

④参考項目として現在のサービス利用状況を把握しました。訪問介護、通所介護の利用が多い傾向です。

⑤聞き取り項目は、i 訪問介護等の提供方法変更に係る不安、ii 自己負担費用の 2 割化への不安、iii 特養入所に係る介護度による制限への不安、iv 生活全般に係る不安、を面談方式で聞き取りました。

⑥聞き取りした結果、不安ありと回答した傾向は以下のようになりました。

聞き取りで寄せられた声、特に制度改定による予防給付からの切り捨てへの不安や心配									
訪問介護、通所介護の提供仕組変更									
	不安・心配あり	71	85.5%	①心配・不安の意思表示があった方は71件(85.5%)となった					
	今と同等ならば	8	9.6%	②現在と同等・同質のサービスが継続するならば「ボランティアでもしかたない」が8件					
	賛成	4	4.8%	③ ②の回答も心配を含む回答であり①と合わせて79件:約95%が心配・不安と回答している					
	無回答	0		④ボランティアの有効性や親切な方への期待もヒヤリングでは出されている					
	計	83	100.0%	⑤一方、ボランティアの導入などの変更内容を知らない、との意見も出された					
自己負担2割への不安・心配									
	不安・心配あり	55	66.3%	①心配・不安の意思表示があった方は55件(66.3%)となった					
	使わざる得ないから	17	20.5%	②サービスを使わないと今の生活を維持できないため、負担増でもしかたないが17件					
	賛成	9	10.8%	③ ①と②の計は72件:86%は経済的な不安から継続してサービスを使えるか心配している					
	無回答	2		④ ②の回答は①の不安55件よりも、一層、心配の度合は高い。それは暮らしていく上で不可欠なサービスであり、他の支出を調整してもなんとか工面する必要があるから。					
	計	83	100.0%	⑤自己負担増への不安は世帯:老々で特に顕著(93%)に示された					
特養の介護度による制限									
	不安・心配あり	51	61.4%	①心配・不安の意思表示があった方は51件となった					
	条件つき仕方ない	12	14.5%	②入所が計画になかったり、考えたこともない、方があり、心配についても濃淡がある					
	賛成	12	14.5%	③施設入所が困った時の選択肢にできなくなることへの不安が多数、独居の方の不安					
	無回答	8		④認知症の方への入所配慮や介護度のみでない面への配慮を望む声が出されている					
	計	83	100.0%						

⑦調査で得られた内容、傾向、利用者・家族の声から、制度改定の内容は在宅生活を継続する上で大きな不安・心配になることを確認し、調査所見としてまとめました。

2、調査所見

(1) 制度が変わることも内容も周知されていない

2015年4月から予定されている介護保険制度の改定内容を知らないと答えた方が多数、ありました。

税と社会保障の一体改革および「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」（以下「総合推進法」）にそって準備される介護保険制度改定の内容は利用者・家族に届いていません。多くの重大な内容が一括法案となり、しかもきわめて短時間の国会審議であったために、マスコミ等による情報提供も少なかったことも、その一因となっています。

利用者・家族は、年金額が下がる中、消費増税や医療・介護の保険料負担も増え、利用料も上がり、サービスは制限されるという状況を不安に思っています。

国や自治体は制度改定の内容や自治体の計画を周知すること、またその結果、出される意見をしっかり聞き取り、拙速な給付抑制や軽度者はずしにならないような運用や市民の声を反映した計画づくりが必要です。

聞き取りした声(抜粋)

- 何も知らされていない。直接かわるのに何も知らされずに、どんどん悪くすすんでいく。
- 急激な制度変更に不安をもっている。
- ヘルパーに週2回きてもらい、一人で暮らしているが、今の状態を維持していきたいという望みは贅沢なものではなく当たり前のことだと思う。
- 今の制度を使って安心してくらしている。この生活を続けていきたい。
- 病気がよくなりずストレス。
- 要支援の人がどれほどサービスを受けられるのか制度がどう変わるのかが不安。
- 負担増など金銭面も不安だし、給付もはずされると、さらに大きな不安。
- 介護保険はわかりにくい不安な制度。
- 年金は減り介護給付は削られ、生きることに不安を感じる。
- 介護従事者は若くて生活が大変とよく言っている。自己負担増は望まないが(彼らが)収入アップできるように考えて。
- サービスが制限されたらこもりがちになってしまう。

(2) 専門性のあるサービス提供こそが介護保険制度に期待されている

予防給付によるサービス提供を「多様な主体（＝互助によるボランティア等）」で対応できる仕組みに変更することには「専門的なヘルパーの水準が期待できないのではないか」との心配が多数寄せられています。

それは、これまでに現場の職員が質向上に努力し、利用者・家族との信頼関係を築いてきた結果が評価されていることの表れであり、専門的なサービスによって在宅療養を継続できていることを示しています。

「多様な主体」では代替できない専門性が担保されたサービス提供こそが介護保険制度に期待されていることであり、自立支援を促進することにつながるものです。

聞き取りした声(抜粋)

- プロとして教育、訓練されていることによる、突然の事態への対応などの安心感がある。
- プロでないことへの不安。ボランティアはどこまで病状や身体状況を把握してサービスに入ってもらえるのか不安。
- 要支援であっても体調などは日々に違う、変化に対応できるのか。
- 専門でない人に「その人流」でやられては困る。
- ボランティアで、毎回同じ人が対応できるのか心配。介護では人との関係が重要。
- 自分でもボランティアをしたことはあるが、感情的な部分やつきあい方などはむずかしい。
- 現在利用している事業所と関係が切れてしまうことが心配。
- 今と変わらないならボランティアでもよい。ただ、市によって格差がでることが不安。

(3)これ以上の負担増は利用者・家族の生活を追い込むことになる

「介護サービスが今まで通り利用できるなら、負担増はやむをえない」と考えている方もいる反面、多くの方は負担増への不安や怒りを感じています。

一つには、年金が減る一方で消費税もあがり、医療や介護など社会保障の保険料や利用料がこの間上がり続けていること。もう一つには介護の費用負担は一時的なものではなく、生きている限り続くという事情から、先の見えない不安となっていることです。

そのため、そもそもの生活が圧迫され、いつ経済的に尽き果ててしまうかという心配となっています。

聞き取りした声(抜粋)

- 高齢者など社会的弱者にだけ負担を強いることが納得できないし、国の無駄は他にたくさんある。
- 年金が改善されず悪くなっているのに負担だけが増えることへの怒り、不安。
- 消費税も上げたし、その分社会保障にまわすなんてうそつくな。
- 医療も介護も消費税も上がる。余命はわからないのでいつまでお金がもつかかわからない。
- 先行きがわからない不安。消費税と相まって、生活できなくなる。
- 今でも自己負担のためにサービス利用を制限しているので、負担増は反対。
- 高所得者2割というが国のやることだから、そのうち低所得者も負担増になるのではないかと心配。
- 介護は負担が上がったからやめるというわけにいかないもの。困る。
- サービスが今まで通り利用できるなら、負担増はやむをえない。

(4)安心して利用できる介護施設を更に充実することが必要

施設の利用については、いざという時の頼る先が限定されてしまうことへの心配があるとの回答が寄せられました。在宅療養の継続には緊急時のショートステイや日常生活での通所系事業所の存在があって、初めて安心できるものです。そして施設入所はその上で大切な選択肢であり、どうしても在宅生活の継続が厳しい際、もっとも頼られる存在です。

実際には特別養護老人ホームを要介護度で制限してしまうと、費用面からその他の施設では施設を選択できなくなる方が多くいます。

機械的な判断基準の導入ではなく、困った時に頼れる選択肢を多く準備することこそが自立支援につながるものと思われます。

聞き取りした声(抜粋)

- 老々介護で支えあって生活しているときに、一方で入所が必要となった際に、軽度な一人が残されるのでは生活していけなくなる。
- 介護度でなく状況に応じて入れるようにしてほしい。
- 今は杖をついて階段を昇り降りしているが(階段を)歩けなくなったらエレベーターがないと住めない。それでも3以上でないと特養は入れないのか。
- 一般の(有料老人)ホームは高くて入れない。何でも金次第。
- 要介護3未満の人は高い金で有料老人ホームということか！有料老人ホームではサービスの質に不安を感じる。
- 施設じゃないと暮らせない人を排除すると、介護を苦にした事件が増える。
- 在宅生活が困難になった場合、介護度の低い人はどうしたらいいのか。
- 独居なので心配。独居者が増えていのに施設入所を制限するのはおかしい。
- 有料老人ホームは高くて入れない。地方にいる子どもにも迷惑かけられないしどうすればいいか困っている。
- 死ぬしかない。

3、『「要支援者」への予防給付はすし』に対する私達の見解と立場

(1)あらためて調査から見てきたもの

今回の調査でわかったことは、①多くの方がくらし続けていく上で現在の専門職による介護サービスをたよりにし、その点での変更に対し危惧していること、②また、年金の収入減に加え消費税や社会保障の負担増のために生活が圧迫され、多くの方が不安を抱いていること、③在宅介護が困難となったときに、安心して介護を受けられる施設がないことに心配していること、でした。さらに、④現に介護を利用している人たちの多くが知らない中で制度改定が行われたということ、がわかります。

こうしたことをあわせ考えると、いったい誰のための制度改定なのか、介護を要する人不在の制度改定、という姿が見えてきます。

(2)利用者がサービスを選べないー制度が利用者を選んでいる逆立ち状態の改善こそが必要

介護保険の創設にあたって政府は、介護の家族負担に対して「介護の社会化」ということと、新たに保険料を徴収する制度となることに対して「選べる介護サービス」ということを国民に約束しました。しかし度重なる制度改正によりその都度、負担を増やし、介護給付の制限を強めてきました。

2006年に要介護者のうちの軽度者を「要支援者＝予防給付」として分離し、今度はその「要支援者」を予防給付から引き離して総合事業に移そうというのですから、「選べる介護サービス」どころか、選別され、介護保険の給付からふり落とされてしまうのは介護を要する人たちであったという逆立ち状態がすすんでいます。

利用者・家族の中には、暮らしつづけるために身を切るような状態にある方もいることを知ることができました。こうした実態を目の当たりにした時、私達はあらためて、お金のあるなしで選別されずに介護サービスが受けられることが必要であると考えます。

同時に本当に必要な人が介護サービスが使えない事に危惧を覚えます。今、必要なことは、介護が必要であっても利用者・家族が安心して暮らしつづけられる介護保険制度として、あらためて抜本的に考え直すことではないでしょうか。そのための国民的な討議が必要だと考えます。

また総合事業の検討にあたっては、総合推進法に対する参議院付帯決議（平成26年6月17日）にのっとり、利用者の意志を十分尊重し、個別の事情を考慮して、必要なサービスが適切に措置されるものとなるよう、求めます。

(3)憲法、人権保障の理念の立った検討と運用を

私達は利用者・家族がこれ以上、追いつめられる状況には黙っていることはできません。なんとしても利用者・家族の命と暮らしを守ります。そのために質の高い医療・介護、地域の人々や事業所等とも協力しあって困難に寄り添ったサービスの提供をすすめるとともに、制度をよくするための運動をすすめていきます。

社会保障制度による医療・介護・福祉の利用は憲法に謳われた「権利」であり、自助意識の強制や自己責任原理によって抑制される性格のものではありません。

利用者・家族、国民の誰もが安心して暮らしつづけていくために、憲法13条、25条、97条に基づく権利としての社会保障理念にそった制度内容の検討・改善と運用を強く求めるものです。

以上

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 資料集

1、聞き取り調査結果集約事業所一覧

2、調査報告(1):全体概要

3、調査報告(2):要支援の方83事例の集約結果

4、調査報告(3):聞き取りした声

①訪問介護、通所介護の提供の仕組みが変更されることへの不安・心配

②自己負担2割への不安・心配

③施設入所の介護度による制限への不安・心配

④介護保険制度にかかわりなく困っていること、希望したいこと

⑤聞き取りした職員の感想

聞き取り調査結果集約事業所一覧

			在宅診療	訪問看護	通所リハ	通所介護	訪問介護	ケアプラン	グループホーム	地域密着型在宅系	地域密着型施設系	福祉用具その他
1	健生会	立川相互病院										
2		立川相互病院付属子ども診療所										
3		立川相互ふれあいクリニック	3									
4		すながわ相互診療所										
5		谷保駅前相互診療所	3									
6		あきしま相互病院			2							
7		昭島相互診療所	3					3				
8		府中診療所										
9		日野台診療所										
10		大南ファミリークリニック	1									
11		羽村相互診療所						3				
12		国分寺ひかり診療所	1					3				
13		相互歯科	7									
14		けんせい歯科										
15		にしき訪問看護ステーション		1								
16		さかえ訪問看護ステーション		3								
17		東中神訪問看護ステーション		2								
18		しんまち訪問看護ステーション										
19		ひのだい訪問看護ステーション		2								
20		緑が丘訪問看護ステーション		5								
21		にしたま訪問看護ステーション		2								
22		日吉町訪問看護ステーション		4								
23		17 府中市地域包括支援センターしんまち										
24		48 国分寺地域包括支援センターひかり										
25	地域福祉サービス協会	居宅介護支援事業所コスモス						8				
26		コスモス立川					4					
27		eコスモス24										
28		定巡コスモス立川										
29		グループホームえがおの家										
30		デイサービスえがおの家										
31		あけぼのさん家										
32		居宅介護支援事業所なのはな						4				
33		コスモス国立					9					
34		コスモス昭島					3					
35		コスモス府中(ケアプラン)						4				
36		コスモス府中					1					
37		グループホームえがおの家西府										
38		コスモス日野					1					
39		ケアプランセンター・あさがお										
40		コスモスむさし村山					3					
41		コスモス西多摩					4					
42		11 コスモス国分寺					4					
43		45 定巡コスモス国分寺										
		集約事業所数	6	7	1	0	8	6	0	0	0	0
			在宅診療	訪問看護	通所リハ	通所介護	訪問介護	ケアプラン	Gホーム	密着在宅	密着施設	用具他
		集約事例数	18	19	2	0	29	25	0	0	0	0
		全体集約事例数	28 事業所 93 事例									

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(1)

- ①ヒヤリング調査は、2014年8月から10月初旬までに、健生会グループの主に在宅支援に関わる事業所でとりくんだ。
- ②集約結果は、28事業所から93事例となった。
- ③93事例内訳：診療圏域別では、立川27件、国立15件、昭島13件、府中5件、日野3件、武蔵村山9件、西多摩9件、国分寺12件。
- ④ 同上 事業別では訪問介護29、通所介護0、福祉用具0、訪問看護19、訪問診療(歯科含)18、通所リハ2、ケアプラン25。
- ⑤尚、今回の調査は実施事業所での作為抽出でヒヤリングへの協力が得られる方、お話しが可能な方から得られた結果となっている。
- ⑥そのため、今回の調査結果は、他でも同じ傾向がでるとは断定できない。

介護度	回答数	構成比	独居	老々	その他	無回答
支援1	29	31.2%	20	5	4	0
支援2	54	58.1%	30	10	14	0
介護1	3	3.2%	1	1	1	0
介護2	2	2.2%	1	1	0	0
介護3	0	0.0%	0	0	0	0
介護4	0	0.0%	0	0	0	0
介護5	1	1.1%	0	0	1	0
無回答	4	4.3%	2	0	1	1
計	93	100.0%	54	17	21	1

※支援1・2とも独居が最多で全体の約6割を占めている

※予防は93件中、83件

※支援1と2の比率はおよそ1:2

性別	回答数	構成比	独居	老々	その他	無回答
男	33	35.5%	19	6	7	1
女	58	62.4%	34	10	14	0
無回答	2	2.2%	1	1	0	0
計	93	100.0%	54	17	21	1

※男性:女性は約1:2の比率

世帯	回答数	構成比
独居	54	58.1%
老々	17	18.3%
その他	21	22.6%
無回答	1	1.1%
計	93	100.0%

利用サービス数	構成比	独居	老々	その他	無回答
訪問介護	70	75.3%	52	11	7
通所介護	32	34.4%	18	7	7
福祉用具	20	21.5%	10	3	7
訪問入浴	3	3.2%	1	1	1
訪問看護	27	29.0%	15	4	7
通所リハ	6	6.5%	2	0	4
訪問診療	23	24.7%	10	8	5
訪問歯科	7	7.5%	3	3	1
ショート	1	1.1%	0	1	0
その他	15	16.1%	10	3	1
計	204	219.4%	121	41	40

93名の利用者が延べ何種類のサービスを使っているか

※1訪問介護、通所介護が多いサービスとなった

※2訪問診療、訪問看護が多いのはグループの傾向か

※3福祉用具が多く、在宅療養を支える上で必要性が確認できる

※その他の内訳は下のとおり

※配食、訪問マッサージ、社協ボラの在宅ケア、通院同行、緊急通報、ふれあい牛乳、障害者作業所、権利擁護

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(2)

1、ヒヤリング全93件中、介護予防支援83名の概要

- ①全体93件のうち、予防83名について、特に心配・不安の傾向について報告
- ②右にある「提供仕組の変更(ボランティア導入)」「自己負担割合の変化」「特養入所制限」の不安・心配を数値上で把握した
- ③不安・心配はいずれも顕著で特にボランティア導入は同等・同質のサービスが継続するののかという心配が多かった。
- ④ボランティアの導入に当って専門的なヘルパーの水準が期待できないとの心配は、現在のヘルパーが提供しているサービスへの(相対的な)満足と期待を表していると言える。ボランティアには代われない専門性の提供が介護保険制度に期待されていることを示している。

3、予防のみ:83件の概要(介護度と世帯のクロス)

介護度	回答数	構成比	独居	老々	その他	無回答
支援1	29	34.9%	20	5	4	0
支援2	54	65.1%	30	10	14	0
無回答	0					
計	83	100.0%	50	15	18	0

※独居は全体の6割で、全体(93)と同傾向。

2、ヒヤリングから寄せられた声、特に制度改訂による介護保険からの切り捨て懸念事項への不安・心配

訪問介護、通所介護の提供仕組変更

不安・心配あり	71	85.5%
今と同等ならば	8	9.6%
賛成	4	4.8%
無回答	0	
計	83	100.0%

- ①心配・不安の意思表示があった方は71件(85.5%)となった
- ②現在と同等・同質のサービスが継続するならば「ボランティアでもしかたない」が8件
- ③ ②の回答も心配を含む回答であり①と合わせて79件:約95%が心配・不安と回答している
- ④ボランティアの有効性や親切な方への期待もヒヤリングでは出されている
- ⑤一方、ボランティアの導入などの変更内容を知らない、との意見も出された

自己負担2割への不安・心配

不安・心配あり	55	66.3%
使わざる得ないから	17	20.5%
賛成	9	10.8%
無回答	2	
計	83	100.0%

- ①心配・不安の意思表示があった方は55件(66.3%)となった
- ②サービスを使わないと今の生活を維持できないため、負担増でもしかたないが17件
- ③ ①と②の計は72件:86%は経済的な不安から継続してサービスを使えるか心配している
- ④ ②の回答は①の不安55件よりも、一層、心配の度合は高い。それは暮らしていく上で不可欠なサービスであり、他の支出を調整してもなんとか工面する必要があるから。
- ⑤自己負担増への不安は世帯:老々で特に顕著(93%)に示された

特養の介護度による制限

不安・心配あり	51	61.4%
条件つき仕方ない	12	14.5%
賛成	12	14.5%
無回答	8	
計	83	100.0%

- ①心配・不安の意思表示があった方は51件となった
- ②入所が計画になかったり、考えたこともない、方があり、心配についても濃淡がある
- ③施設入所が困った時の選択肢にできなくなることへの不安が多数、独居の方の不安
- ④認知症の方への入所配慮や介護度のみでない面への配慮を望む声が出されている

4、83件の介護度と性別のクロス、介護度別での制度改訂への不安・心配の傾向

介護度	回答数	構成比	男	女	無回答
支援1	29	34.9%	9	19	1
支援2	54	65.1%	21	33	0
無回答	0				
計	83	100.0%	30	52	1

訪問介護、通所介護の提供仕組変更

回答数	不安・心配あり:71
支援1	23 79.3%
支援2	48 88.9%
無回答	0
計	71 85.5%

自己負担の2割化

回答数	不安・心配あり:55
支援1	19 65.5%
支援2	36 66.7%
無回答	0
計	55 66.3%

特養の入所制限

回答数	不安・心配あり:51
支援1	19 65.5%
支援2	32 59.3%
無回答	0
計	51 61.4%

※ボランティアへの変更:支援2のほうが顕著

5、83件の性別と世帯のクロス、性別での制度改訂への不安・心配の傾向

性別	回答数	構成比	独居	老々	その他	無回答
男	30	36.1%	20	5	5	
女	52	62.7%	30	9	13	
無回答	1	1.2%	0	1	0	
計	83	100.0%	50	15	18	0

訪問介護、通所介護の提供仕組変更

回答数	不安・心配あり:71
男	23 76.7%
女	48 92.3%
無回答	0
計	71 85.5%

自己負担の2割化

回答数	不安・心配あり:55
男	21 70.0%
女	33 63.5%
無回答	1
計	55 66.3%

特養の入所制限

回答数	不安・心配あり:51
男	17 56.7%
女	34 65.4%
無回答	0
計	51 61.4%

※ボランティアへの変更:女性で顕著

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(2)

6、83件の世帯構成、世帯での制度改訂への不安・心配の傾向

世帯	回答数	構成比
独居	50	60.2%
老々	15	18.1%
その他	18	21.7%
無回答	0	0.0%
計	83	100.0%

訪問介護、通所介護の提供仕組変更

回答数	不安・心配あり:71	
独居	50	45 90.0%
老々	15	13 86.7%
その他	18	13 72.2%
無回答	0	0
計	83	71 85.5%

自己負担の2割化

不安・心配あり:55	
31	62.0% (+13)
14	93.3%
10	55.6%
0	
55	66.3%

特養の入所制限

不安・心配あり:51	
30	60.0%
12	80.0%
9	50.0%
0	
51	61.4%

※老々世帯は全体的に心配・不安が高めに出ている

7、83件の利用サービス数と世帯のクロス

①支援1+支援2(83人)主に生活支援型サービスで在宅生活を支えている

利用サービス	構成比	独居	老々	その他	無回答
訪問介護	65 78.3%	49	10	6	
通所介護	28 33.7%	16	6	6	
福祉用具	16 19.3%	9	2	5	
訪問入浴	1 1.2%	1			
訪問看護	23 27.7%	14	4	5	
通所リハ	6 7.2%	2		4	
訪問診療	20 24.1%	9	7	4	
訪問歯科	6 7.2%	3	2	1	
ショート	0 0.0%				
その他	13 15.7%	9	3	1	
計	178 214.5%	112	34	32	0

②支援1(29人):独居の方が相対的に多くのサービスを使っている

利用サービス	構成比	独居	老々	その他	無回答
訪問介護	23 79.3%	19	2	2	
通所介護	10 34.5%	5	4	1	
福祉用具	2 6.9%	2			
訪問入浴	0 0.0%				
訪問看護	6 20.7%	4	1	1	
通所リハ	1 3.4%	1			
訪問診療	7 24.1%	3	4		
訪問歯科	2 6.9%	1	1		
ショート	0 0.0%				
その他	9 31.0%	8	1		
計	60 206.9%	43	13	4	0

③支援2(54人):支援1に比べ独居以外の利用が多い傾向となった

利用サービス	構成比	独居	老々	その他	無回答
訪問介護	42 77.8%	30	8	4	
通所介護	18 33.3%	11	2	5	
福祉用具	14 25.9%	7	2	5	
訪問入浴	1 1.9%	1			
訪問看護	17 31.5%	10	3	4	
通所リハ	5 9.3%	1		4	
訪問診療	13 24.1%	6	3	4	
訪問歯科	4 7.4%	2	1	1	
ショート	0 0.0%				
その他	4 7.4%	1	2	1	
計	118 218.5%	69	21	28	0

8、聞き取りした声(抜粋)

訪問介護、通所介護の提供仕組変更

○プロとして教育、訓練されていることによる、突然の事態への対応などの安心感。プロでないことへの不安。ボランティアはどこまで病状や身体状況を把握してサービスに入ってもらえるのか不安。要支援であっても体調などは日々に違う、変化に対応できるのか。専門でない人で、「その人流」でやられては困る。○ボランティアで、毎回同じ人が対応できるのか心配。介護では人との関係が重要。自分でもボランティアをしたことはあるが、感情的な部分やつきあい方などはむずかしい。○現在利用している事業所と関係が切れてしまうことが心配。○今と変わらないならボランティアでもよい。ただ、市によって格差がでるだろう。

自己負担の2割化

○高齢者など社会的弱者にだけ負担を強いることが納得できないし、国の無駄は他にたくさんある。年金が改善されず悪くなっているのに負担だけが増えることへの怒り、不安。消費税も上げたし、その分社会保障にまわすなんてうそつくな。○医療も介護も消費税も上がる。余命はわからないのでいつまでお金がもつかわからない。先行きがわからない不安。消費税と相まって、生活できなくなる。○今でも自己負担のためにサービス利用を制限しているので、負担増は反対。○高所得者2割というが国のやることだからそのうち低所得者も負担増になるのではないかと心配。○介護は負担があがったからやめるというわけにいかないもの。困る。○サービスが今まで通り利用できるなら、負担増はやむをえない。

特養の入所制限

○老々介護で支えあって生活しているときに、一方で入所が必要となった際に、軽度な一人が残されるのでは生活していけなくなる。○介護度でなく状況に応じて入れるようにしてほしい。今は杖をついて階段を昇り降りしているが(階段を)歩けなくなったらエレベータがないと住めない。それでも3以上でないと特養は入れないのか。○一般の(有料老人)ホームは高くて入れない。何でも金次第。要介護3未満の人は高い金で有料老人ホームということか！有料老人ホームではサービスの質に不安を感じる。○施設じゃないと暮らせない人を排除すると、介護を苦にした事件が増える。○在宅生活が困難になった場合、介護度の低い人はどうしたらいいのか○独居なので心配。独居者が増えているのに施設入所を制限するのはおかしい。有料老人ホームは高くて入れない。地方にいる子どもにも迷惑かけられなしどうすればいいか困っている。○死ぬしかない

制度全体または暮らし全体

○何も知らされていない。直接かかわるのに何も知らされずに、どんどん悪くすすんでいく。急激な制度変更に不安。○ヘルパーに週2回きてもらい団地で一人であらしているが、今の状態を維持 していきたいという望みは贅沢なものではなく当たり前のことだと思う。今の制度を使って安心してくらしている。この生活を続けていきたい。○病気がよくなりずストレス。要支援の人がどれほどサービスを受けられるのか制度がどう変わるのかが不安。○負担増など金銭面も不安だし、給付もはずしはさらに大きな不安○介護保険はわかりにくい不安な制度○(年金は減り介護給付は削られ)生きること不安を感じる○介護従事者は若くて生活が大変とよく言っている。自己負担増は望まないが収入アップできるように考えてほしい。○サービスが制限されたらこもりがちになってしまう。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-①)

①訪問介護、通所介護のサービス提供の仕組みが変更されることへの不安・心配

1	特に心配や不安はない。器械を使用した体操に行っているが、人がいてくれれば安心して行うことが出来る。人がいない様では困るが、いてくれた方が安心である。
2	困る！の一言でした。介護の目的が変わってしまうのでは？という不安もあるようでした。
3	ボランティア・低報酬になると手抜きになってしまうのではない？汚い仕事(下の処理)などしてもらえなくなるのでは？
4	弁当を減らされたら困る。もっと増やしてほしい。デイサービスは行き始めたところなのでようやく慣れたところでは変更は困る。
5	頼みづらい。ボランティアなら来てもらうのが悪い。
6	頼みにくい、やりにくい、分からないから何とも言えない。ボランティアは善意でやってもらうことではないと思う。
7	ボランティアでも資格を持たない人であっても、研修をある程度受けた人であれば、認めても良いと思う。高齢社会のこれからの時代仕方がないと思う。
8	勝手に変更してサービス内容を減らされたら困る。
9	現状は維持して欲しい
10	現在は週2(回)でヘルパーさんに来てもらっているが、本当はもっと来て欲しい位。何があるか分からない。専門の人が来てくれるからこそその安心感があるし、ありがたさもある。
11	困る
12	サービスが減ったら減ったでなるようになるでしょう。
13	大いに不安、ボランティアになったらどうなっちゃうのか
14	今のところ心配なし
15	訪問介護:ボランティアさんに代わってしまうのは料金的にも上がってしまうのか不安に感じる。通所介護:デイでは歩行訓練を中心に行っている。リハビリをずっと続けていきたいのになくなってしまう。
16	通所介護で今まで安心して入浴させてもらっていたが、ボランティアになることで不安はある。
17	とても心配している。対価のないボランティアではあてにならない。毎回見知らぬ人が出入りするのには困る。慣れているヘルパーさんにこれからもお願いしたい。
18	ボランティアだと責任もってやってくれるか分からない。今と同じヘルパーさんが良い。
19	今の状態(身体的)ならボランティアさんでも大丈夫だと思っています(ヘルパーさんについては)デイサービスがボランティアだと週2回位行かれるか心配です。閉じこもりになってしまうのではない？

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-①)

①訪問介護、通所介護のサービス提供の仕組みが変更されることへの不安・心配

20	純粋な家事支援でお願いしていたが、爪を切ったり湿布を貼ってもらったりしている。本来身体介護かもなので自分としては支援ではないと思っている。きちんと来てくれ料金が今まで通りならいい(ボランティアの人でも)。自治体によって格差が出ると思う。
21	現在のデイサービスを楽しみにしているし、専門的知識が無い方にお願いするのは不安です。
22	専門的にかかわることを望みます。
23	ボランティアとは自由というイメージがあり、自分の都合で来たり来なかったりするのではないかと思うと不安に感じる
24	心配あります。独居高齢のため病気を抱えていて不安を抱えています
25	心配ですしいやです。個人的なボランティアに依頼するのは専門職でないので心配です。どうしてもルーズになりがちの様に思いますのでヘルパーが良いです。
26	変更された時点で訪問介護(ヘルパー)とケアマネ等ときちんと相談するつもりにしています。特に心配はしていません。
27	不安を感じている、これからどのようにしていくのかわからない。
28	介護の仕事は一定のレベルがないと(考え方、方法、知識など)受ける方が不安になる。その人の好みでやってもらっちゃ困る。
29	今のサービス活用で何とか維持出来ているので、活用できなくなるのは困る。悪くなってからでは遅い。
30	現在の所へは要支援1で入居。しかし足がどんどん痛くなってきており、働くことが大変になっている。通院のための交通手段がない。タクシー往復2,400円NPOタクシー1,500円
31	なにしろお金がないので、体調が悪いせいもあるけどお金がないので通所もやめている。夫も要支援2でヘルパーさんに来てもらっているけど高いお金と払わなくてはならないようだと言わなければならないと思う。
32	介護保険料を払っているのに使えなくなるのは納得いかない
33	不安で困る。ボランティアとヘルパーの意識の差はないのか？
34	不安あります。現状のサービスが継続できるのか、はたしてボランティアさんがどこまで病状や身体状況を把握してサービスに入ってくれるのか。現状ではできる部分手伝ってもらわなければ出来ない家事がきちんと線引きされているが、今後はどうなっていくのか不安。
35	ヘルパーが変更することに不安、ボランティアと言うけれど、どこまでがボランティアか、金額もわからない
36	金額的に不安、今まで資格がある人が来てくれたのでボランティアでは軽い気がする。
37	今は資格のある人を事業所から派遣してもらっているので安心だが、どこの誰か分からない人が家の中に入って来るのは心配。何が起るかわからないので、身元のしっかりした人でないと頼まない。
38	もしサービスが定期でなくなると困ります。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-①)

①訪問介護、通所介護のサービス提供の仕組みが変更されることへの不安・心配

39	どんな人が来るのか分からないのが心配(無資格、身分、人柄、力量)。ちゃんとした知識がない人が支援をして大丈夫なのか、シルバーさんには頼みたくない。体の事生活の事を相談できなくなる。
40	素人の職員では相談や注意深く観てもらえないのではないかと心配
41	現在は資格を持ったヘルパーなのでとても安心感がある。ボランティアさんになった場合には不安を持っている。
42	資格を持たない方が自宅に訪問されるのは不安があります。
43	今のところ、内容がよくわからないので、心配と言ってもこれと言って分からない
44	知らなかった。現在は組織がきちんとしたところからのヘルパーさんだからいいけど。きちんと資格のある人だと、体のことを心配してくれたり、食事のアドバイスをしてくれたりしている。きちんと知識のある人がいいと思う。
45	内容がわからないので心配、どちらかというと反対。専門の方(勉強した人)でないので不安
46	独り暮らしなのでとても心配。訪問看護を切られたら自宅で死んで発見されるかも、こうやって決められたら仕方ない、国が決めることだ何とかなるさと思う。
47	仕組みがよく分からなくなる
48	もちろんあります。こういう事は全部不安材料です。(自分の寿命、体力的なものも含め)先がよめない、予測できない。現状維持ができるかどうか、自分にとって先が見えなくて不安になる。
49	リハビリがなくなると困る。
50	やることやってもらえるなら、特に問題はない。
51	娘・孫世帯と同居しているので、ヘルパーについては特に実感がわからない。デイサービスに関しては、他市利用しているので通い先が変わるのが不安。
52	今のヘルパーさんにはよくやってもらっているので、事業所が変更したりするのであれば心配。
53	栄養士が訪問され、栄養指導の下ヘルパーが買い物、調理方法の補足などをし血糖値も落ち着いているので、ボランティアになると不安なことが出てくると思う。
54	今ゴミ捨てと掃除を一緒にしてもらっているので気持ちが落ち着いています。体調の事等考えてもらいながらヘルパーと一緒にしているので、一人での暮らしが出来ています。ヘルパーさんが来なくなるとどうしていいかわかりません。
55	精神的に参ってしまう事が多い、ヘルパーさんに話を聞いてもらう事で落ち着くこともある。だから来なくなると不安になってしまう。
56	不安あり。ヘルパーがボランティアになったら対応のヘルパーさんも人が変わり品物購入なども安心して頼めない。通所介護も安心して利用できなくなる。
57	大いにあります。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-①)

①訪問介護、通所介護のサービス提供の仕組みが変更されることへの不安・心配

58	あります。
59	資格のない人を家に入れるのは大変に不安。
60	状況把握が難しいので何とも言えないが今まで通りの状況と同じなら特に心配はない。
61	ヘルパー事業者の中でも人がかわるとパニックになり、うつも悪くなり入院したので、ヘルパーさんがかわるととても困る。
62	リハビリを受けているので、専門のリハの人が減ってしまつては困る。今でも利用者14～15人の所にリハに人が3～4人の対応。
63	今まで通りに利用できた方が慣れているので利用しやすい。
64	ヘルパーさんのサービスがボランティアの方に移行した時にどの様になっていくのか具体的な説明がないので心配
65	おおいにあります。善意にたよるのでなく専門的知識や経験が必要
66	デイサービスに涼しくなったら行こうと思っていたが、自己負担になるなら多分行かないと思う。独居の人などは家にこもってしまうのでは…
67	特にない。通所している所が今後受け入れない事を聞いている。行けないなら行かなくて良い。
68	大変不安に感じている。複数の病気があるので屈む事が出来ず室内も伝い歩きで外出は子供が来てくれた時だけだ。ますます閉じこもりがちになってしまう。
69	事業所からのヘルパーなら個人情報を守ってもらえると思っている、ボランティアはとても不安。
70	不安がある、ヘルパーが来なくなると困る。金額はどうなるのか。
71	心配不安はない。最初は青梅のヘルパー(ボランティア)をまわりの人が使っていたからいいんじゃないか。介護保険がはじまってごじゃごじゃしてしまった。もとに戻っただけ。
72	事故が起こらないか心配、きちんと管理できるか不安。
73	ヘルパーの力で家が片付いている状況、娘さんよりも頼りにされている。通所サービスで入浴ができ、足の浮腫も直って来たのでなくなると悪化は必然です。
74	いろんな病気を抱えている。(狭心症、脳動脈硬化症、脳梗塞、前立腺肥大症、白血球減少症、腸閉塞、膝関節症など)ヘルパーは週1回(共に行う家事)主に掃除ですが、環境を整える目的のほか、会話の中での1週間の体調の変化などを把握したりなど、たった1時間ですが貴重な時間となっています。
75	独居であることもあり、今の制度がなくなることにより94才という高齢でもあり、とても不安に思っている。今の状態が続いてほしい。
76	ずっと介護がはずされる不安を持っていた人。(平成25年1月からサービス開始)多発性腰椎圧迫骨折のため掃除が出来ない。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-①)

①訪問介護、通所介護のサービス提供の仕組みが変更されることへの不安・心配

77	一人暮らしだし、いろいろ病気を抱えている。状態が悪くなると入院することもあるので不安を感じる。
78	ヘルパーの掃除で家が片付いて生活できている。もしヘルパーが入らなかつたらゴミの家となる。
79	妻の体調が不安定なので、自分自身のサービスは大切、なくなると大変
80	慣れた人の方が安心ですね。買い物を任せているが上手にやってくれる。人が来てくれるのはうれしいです。
81	よくわからない
82	今来ているヘルパーさんは6～7年のつきあいなので、特に気を使わなくても良い間柄。年を取っていくのにまた新たなサービスを受けると言う事で申し込まないとダメでしょうか。
83	ホームヘルパーもずっと同じ人なので、他の人が来るよりは話もできるし分かってもらえる。ホームヘルパーに変わってボランティアが来てくれても問題はないが、訪問看護が継続して介入していることが前提の話…。
84	高齢者世帯なので介護保険の制度で支援してもらって助かっている。 ボランティアさんはきちんと責任をもって定期的にやってもらえるのか(不安がある)？
85	今までと同じ、慣れたヘルパーさんが来てくれなくなるのは心配。物がなくなったりした事があったので、ボランティアさんとなるとどんな人が来るのかわからない。
86	規則が外れて、例えばヘルパーに決まった仕事以外に、お茶を飲んで話し相手になってもらえたりするのであればいいのでは(ないか)？ 資格のしぼりがなくなり、ピントがズレている人でも提供できてしまうのは不安。信頼の不足。
87	現在のヘルパー・デイをととても信頼し丁寧に技術面も高くすっかり世話になっていると(きちっとした方なので)学びの少ない人ではこのようなサービスを満足できず利用できなくなったらとても不安に思うとの事。
88	利用料が現在と同じであれば良いが、高くなるのは嫌。ボランティアとなったのは同等のサービスが受けられるか…ボランティアの資質は？個人情報について不安がある。
89	なかなかデイを進めても行動しない方でしたが今は喜んで行かれています。今まで通りの事ができるなら良いです。
90	介護保険で頼めることには限度があるので、忙しい家族に頼むことになったり、自費でお金をかけるしかない。そういう意味ではボランティアさんというものもありがたいかもしれないが、介護保険のサービスがボランティアに全面的に変わるということは、きちんと対応してくれるのか不安。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-②)

②自己負担2割への不安・心配

1	自己負担は安い方がよい。現在は週1のデイへの参加のため、特に負担や心配事は浮かばないが、もっと行っている人は大変。安いにこしたことはない。
2	払っていけないと思う。具体的には、現在の往診等、〇〇〇苑以外は利用できなくなる、そうしないと払えない。
3	2割には反対、誰も賛成などするわけがない!!大変になる。
4	負担が増えたら困る。(倍になると頼みづらい)本当はマッサージも頼みたいが頼めずにいる。
5	何のために税金・保険料収めて来たのか、生活できなくなってしまう。
6	賛成する人なんて誰もいないと思う。ほとんどの人が年金で暮らしているのにどうやって生活しろっていうのか？
7	国のやることだから仕方ないけれど…もっと削るべき所があるのに弱いところからばかり削られてしまう。年を追うごとに体は段々と言うことを聞かなくなってくるため、本来ならばサービスを増やしていくべきだ。老人の数も増えているので、本当は負担も減らして欲しい。
8	自分は収入がぎりぎり生活しているので、2割～の変更の影響は非常に大きい。
9	2割反対、年金のみだから。内容を良くして1割を2割になるなら話は別だが。
10	国でやるというなら仕方ない
11	本人:出るお金を抑えるしかない。 嫁:年金月9万円だから一応大丈夫だろうが、国のやることだから2割になってしまうのではと思っている。
12	多少は負担が増えても、それほどの金額でなんでしょうから何とかあります。
13	大いに不安、生計できない。心・身体がどうなっちゃうのか？
14	今5,000円の負担が増えることは心配。収入がないのに(年金暮らし)負担が増えることは他の日常生活にしわ寄せがいきます。
15	「負担がおおくなるがしょうがない、今まで通りのサービスを使えるのなら」
16	国の方針なら仕方ないが、料金が2倍になっては介護保険の意味がないし負担が大きい。
17	毎月7万円の年金から5千円の家賃を払い、残りで生活している。どれだけ大変か想像できると思う。でも①のように介護保険から切り離されるくらいなら食べるものを削ってでも2割支払う。
18	苦しいけど良くしてもらっているので2割でも払います。
19	お金があるふりして言うわけではないが大丈夫と思っています。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-②)

②自己負担2割への不安・心配

- | | |
|----|---|
| 20 | 今の所は該当しないので大丈夫だが、みんな2割になったら大変。ボランティアのみのサービスになったら月1万位になって費用がかかり過ぎる。 |
| 21 | 年金の範囲内で生活しているので困ります。 |
| 22 | 今後の事を考えて2割負担は年金者には厳しいです。 |
| 23 | 高くなつては生活に影響するので困る |
| 24 | 年金生活のため年金を減額されるので心配です。病院代もかかりますので。 |
| 25 | 経済的に困っている人はどうするんですか？ |
| 26 | 上がりましたので止めるというわけにはいきませんので、困りますね |
| 27 | 負担が大きくなるのはきびしいです |
| 28 | 消費税・医療費もUPする為、いろいろ躊躇して介護保険サービスのスタートが遅くなる。⇒余計状態が悪くなる。余命わからないからお金がいつまでもつか分からない。もうちょっと身体が悪くなってから頼もうと思ってしまう。介護は先が見えないから、今の貯金を崩してしていかなければならなくなる。 |
| 29 | 年金が少ないので困る。払っていけなくなる。 |
| 30 | 心配・困る |
| 31 | とても払えないのでサービスの利用はやめる。歩行器はなくてはならないものなので安く売ってもらいたい。 |
| 32 | 年金が減っているから不安。切りつめないと |
| 33 | 生活費が削られるが必要であるのでお願いするしかない。 |
| 34 | 支払っていけなくなる、もしくは食事の内容を今よりおとし食費を当てていくしかなくなる。経済的負担の心配と、また消費税と同様に今後3割4割負担になっていくのかも不安。 |
| 35 | 私個人では、何ともしようもない、国のやる事だから |
| 36 | 金額的に不安、やはりお金です。 |
| 37 | 年金は減るのに支出が増えるのでは、頼めない人が出てくると思う。若い頃一生懸命働いてやっと年金がもらえるようになったのに、年をとってから苦労するのはおかしい。 |
| 38 | 困りますが、サービスを受けないと生活できない立場なので、決まったのならばやむをえません。 |

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-②)

②自己負担2割への不安・心配

39	介護保険料がアップしているし、医療費が3割負担になった。物価も上がっている。今のまま健康な体なら良いが、これから老いていく事を考えると、負担が増すことは経済的に厳しい。その上介護サービスもか…と思う。人に迷惑をかけない様にコツコツと貯めて来たのに何にもならない(無駄になった)
40	年金生活の中もらえる年金が減っている現状で物価が上がっていて更に介護費が増える事に対する大きな不安がある、死ぬまでずっと。
41	現在の自己負担は安すぎると思っていたので当然だと思う。
42	自分は年金収入が少ないので…1割だと思いますが、2割になる方には気の毒だと思います。
43	今1,300円負担だが、変更となるなら仕方ない、2,600円くらいなら払える。
44	現在はケアマネや病院の担当の人のおかげで妻を特養に入れることができています。お金も安い方のところに入れて助かっている。90歳を超えているので、妻に会いに行くにも診療所に来るにもタクシーを使っているが自己負担が増えたらそうもいなくなる。困るよ。収入300万くらい。
45	年金だけのせいかつだからきつい。入院したらお金を使う。妻入院も多く毎月3万円以上今でもかかっている。とても厳しい。生活していけない。
46	払えない、困る。
47	安いにこしたことはない
48	年金しか収入がない。生活保護に毛が生えたぐらいの年金。生きている限り不安がある。やってくれる(援助してくれる)人がいればいいけど、いない。自分の収入でどうにかしなくちゃいけない。
49	2割はいや。 (一律じゃなくて)年金額によって(比例で)決めてほしい。
50	しかたがない。
51	安定した収入があるので、心配はあまりないが、夫(要介護3)の利用料が増えることは負担。だが、サービスを減らすことは考えていない。
52	金銭的には今は不安はないが、何年も積み重なるとその先は心配になるかもしれない。
53	これ以上負担が増えるのは厳しいです。
54	今も厳しい生活なので、さらにお金が出て行くのはこまります。
55	経済的に負担が増えるのは困る。余裕がないからです。
56	支障があり生活が大変になってしまう。
57	年金生活のためとても必要です。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-②)

②自己負担2割への不安・心配

58	心配で不安がいっぱいです。
59	長い期間になるので、不安、短期ではないので。
60	1割で命をつないでいる。自分で気をつけながら何とか今の状態を(身体)維持したい。歯科・内科以外の通院(歩けなくなったら困る)
61	質問に対しての答えは返ってこない
62	今の年金でやっと。これ以上あがったら生活できない。
63	医療・薬・介護で2割になるとお金が今の倍になり、負担が大きい。
64	心配はない。
65	老人が増えているので仕方ないと思うが、もう少し老人にやさしい社会になってほしい
66	消費税も上げたし、その分社会保障に回すなんてうそつくな。
67	ある。2つ利用したい所が1つになってしまう
68	夫の遺族年金で暮らしているが消費税も上がり、先行きがとても心配だ。
69	年金が減らされ消費税も上がり物価も上がって出費は厳しい。しかし、引き続き今の事業所が来てくれるなら2割になっても来てもらいたい。
70	社会福祉切り捨てに憤りを感じる。消費税を上げたのに、社会保障を切り下げて嘘をついている。
71	心配はない。
72	金額が当てはまらない
73	収入が少なくない為2割負担になると思います。週1回往診もお願いしているため、支出を抑えるために家族が仕事を辞めるかサービスをおさえて不衛生なままにしておくか悩みます。
74	現在の自己負担金はそれほど負担になっていない為、これが2割負担になることにはあまり不安に思う事はない。
75	社協のボランティアで月2回(900円×2)になると話されていた。市発行の冊子を読んで話されていた。
76	年金をやりくりして生活している。少額でも負担が大きくなるのは心配。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-②)

②自己負担2割への不安・心配

77 病気もあるので通院などにもお金がかかり大変です。

78 2,700円～2,800円/月に支払っている。倍になるとサービスは、続けるかは微妙と思う。

79 人間、何でもやりようだと思います。皆さんの意見に従います。全く知らなかったです。

80 払うしかない。心配したってしょうがない。

81 年金は8万円しかないで…と。

82 今は年金や息子からの支援で趣味も遂行できている。2割になったら仕方ないのかも知れないが、負担にはつながるので困るだろう…。

83 いつまで生きるかわからないから、日々切りつめて生活しているのに、年金も手取りが少しずつ減ってきているので、これ以上負担が増えるのはつらい。サービス利用するのを考えてしまう。

84 年金で支払える範囲なら仕方ないと思う。

85 親の経済的な部分もみているので、自分だけのことを見てればいいわけではないところが不安。

86 年金暮らしのため不安。眼や足が悪いため通院もあり心配。

87 仕方ない。

88 年金が少ないので少し困るがあまり影響はないかな

89 今までも安いので適当に思う。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-③)

③特養入所の介護度による制限への不安・心配

1	夫婦一緒に入所が難しい現状だが、最後まで一緒に暮らす方法はないのか。この方は最近夫が倒れ救急搬送、命に別状なく病院から老健入所となり妻はサービス利用しながら一人暮らしとなった。常にさびしい気持ちで生活している。
2	今の所はお姉さまと2人で自宅で暮らしていく予定のため、あまり考えたことはない。今後、入所を考えた場合はお姉さまは要介護、ご本人は要支援のため、一緒に入所することは不可能となってしまう。そのことについては困るとのこと。
3	現在直に特養申し込んだが400人待ちと言われたそうです。認知症になってしまえば介護度は上がるがそうなると一緒に住んでいる息子夫婦に迷惑がかかってしまうので、どちらにせよ良くない。 ※以前はショートステイ利用していたが、今は受けられない
4	今の所は家族でみているのでいつ何が起きるか分からない。息子もいつどうなるか分からない。
5	要介護3がどのくらいの状態か分からないが、必用な時に入れないのは困る。
6	施設はお金が高くて入れると思っていない。
7	入所する資格が必要になると言うことか？施設の入所は考えたことがないからわからない。
8	弱い者(老人)の吐き捨てだと思う。
9	今は杖をついて階段を昇り降りしているが歩けなくなったら(車椅子になったら)今の3階ではエレベーターがないとなあ…。
10	今は自分は大丈夫なので心配もない
11	困るねー「〇〇〇ホームに一応申し込んだ。400番台の待ちだって」と弁あり ※以前はショートステイ利用していたが、今は受けられない
12	息子の事があるので施設に入らないでいいように気をつけていますので、心配はないです。
13	それは無理でいくつになっても一人なのに、とんでもない話。なぜ(要介護)3以上なのか？
14	消費税により、年金生活の人は暮らしがきつい。つき合いによる出費があるので、税金絵雄減らして欲しい
15	独居で夜間等に転倒した時が心配である。介護度だけでは考えられない。枠の中に納まりきらないことが多い。
16	ある程度介護度が軽い人は仕方がない。
17	近所に息子が住んでいるので介護度が重くなったら面倒を見てもらうつもり。自分で好きなように暮らしていきたいから施設は考えていない。
18	夫が要介護1で老健に5年入っているのですが、今後特養に入ってもらいたいと思っていたが、入れないと本当に困る。無理に家に帰すような事があれば介護を苦にした事件が増えていくと思う。
19	そこまで考ええていないので……

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-③)

③特養入所の介護度による制限への不安・心配

- | | |
|----|--|
| 20 | 認知症の人も入れる施設があると良い。 |
| 21 | 自分も将来入所希望があり、入れない可能性が出てくるので心配。一般のホームは費用が高く入れないかもしれないので。 |
| 22 | 今の事より今後の本人や介護している自分の事を考えます。状態とはいえそこまで「要介護3」までと線引きするのは困る。状況に応じて入れるようにしておいてほしい。 |
| 23 | 在宅生活が困難になった場合、介護度の低い者はどうしたらよいのでしょうか？ |
| 24 | 独居生活のためホーム入所を考えていますので不安と心配です |
| 25 | この様に変更されたとしても、その時の状況で入所させてほしい |
| 26 | 親戚等にお世話になることも出来ずに具合が悪くなった場合は介護度にかかわらず受け入れて欲しいです。 |
| 27 | 将来的に考えなくてはいけなところだが、今のところは考えていない |
| 28 | 介護老人保健施設も(要)介護3以上対象となる！とんでもない!!弱い者いじめをしている。 |
| 29 | 年金が少なく、貯金を取り崩しているので、有料の所に行けない。 |
| 30 | 「介護度3」というのは知っている。困る。 |
| 31 | 何でもお金次第、要介護1・2の人は高い有料ホームに入れと言う事か。 |
| 32 | 関係ないかな、認知になったらわからないし |
| 33 | 独り暮らしのため不安です。 |
| 34 | 脳出血で大きな体の変化はないが、体や足のしびれ痛みがあり、これから更に年を取っていけばよけいに動かなくなるでしょう。今の状態で何とか今の家で過ごせるがこれが少しでも悪くなれば施設も考えている。 |
| 35 | 死ぬしかない |
| 36 | やはり経済的に有料には入れないし、どうしようもないときは死にます。 |
| 37 | 一人暮らしの人が増えているのに、一人で生活できなくなったらどうするのだろうとても不安、有料の老人ホームは高く入れる人はほんのわずか。 |
| 38 | 現状ではイメージ出来ませんが、認知などの特殊な場合は別にして欲しいと思います。 |

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-③)

③特養入所の介護度による制限への不安・心配

- | | |
|----|---|
| 39 | 認知症や(重い障害ではなく)程々の障害が残った時、面倒をみてくれる家族はいないし、有料老人ホーム等のサービスの質に不安を感じている。寝たきりにされるかもしれない。特養に受け入れて欲しい。 |
| 40 | 一人住まいなので、今でも入りたいと思っているのに、要介護3以上しか入所出来ないとなると自分の行き場所が何処にあるのか？大きな心配 |
| 41 | 待機者がたくさんいるので仕方ないと思っている。 |
| 42 | 柔軟な対応をしてほしいです。有料老人ホームは高額でとても無理です。自宅で孤独死しかないかと思ってしまう。 |
| 43 | この住宅は24件あるが、今のところは毎週木曜日に年寄りが集まって話をしたりしている。 |
| 44 | 妻は介護度4、よかった入れて。 |
| 45 | 入るにもお金が必要。私は入るつもりはない。私は子供が多くいるが子供のいない人は大変だ。今の時代は福祉を切り下げている。それが問題だ、弱いものいじめだ。 |
| 46 | 大変です。明日、いつどうなるか分からないのに。 |
| 47 | 家族が大変と思う(家で介護する事がどれくらい大変か分かってほしい)。本人・家族共倒れになってしまう。 |
| 48 | 私は家で暮らすので、入所の事は考えていません。 |
| 49 | 家族と同居しているので、自宅の生活を続けていくつもり。介護度3じゃなくても、認知症がひどい人は入所できるので、市のケアマネがしっかりしていれば問題は大きくない様に思います。 |
| 50 | 施設入所は考えていないので特にない。 |
| 51 | いずれ施設(急に体調が悪くなった場合など)入所出来ないのは不安が大きい。 |
| 52 | 一人暮らしが不安なので今後ホームに入りたいと思っています。施設に入れなくなるのは困ります。 |
| 53 | 今一人暮らしなので何年か先にはホームに入りたい、体よりも気持ちが落ち込んでいるので、そういう人達も入れるようにしてほしい。 |
| 54 | 利用できなくなった要介護1, 2の人の受け皿はどうなるのか不安だらけである。 |
| 55 | これから先の不安が増すばかりです。 |
| 56 | 大いに不安です。 |
| 57 | 認定調査員や医師は境界線の人をどうとらえているのか不信感がある。もし自分が認知になっても昔の記憶が残っているで「出来ます」と言ってしまうそうで不安。 |

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-③)

③特養入所の介護度による制限への不安・心配

- | | |
|----|--|
| 58 | いづつどうなるか(本人・息子)わからないなか介護度3の線引きが不安である。 |
| 59 | 質問に対しての答えは返ってこない |
| 60 | 家で暮らせなくなった時困る。子供には頼れない。 |
| 61 | 自分ではホームの入所の希望はないが、希望している人は事情があった入所を希望しているのだから狭き門になるのは大変。 |
| 62 | しょうがないのでお金を出して有料老人ホームに入るしかない。 |
| 63 | 今の状態で老人ホームには金銭的に入れないかもしれない、若いうちから知識があればもっと資金をためておいたのに… |
| 64 | 今後困っていくと予想される。 |
| 65 | 地方にいる子供にも迷惑かけられないしどうすればいいか困っている。 |
| 66 | 入所は考えていない、家で暮らしたい。一人娘は遠くにいるので、ヘルパーさんに来てもらおうと思っている。 |
| 67 | 娘は海外だし、子供は子供で必死に生きているし、兄弟は皆年をとっているし、先行きを考えると不安。全体的に社会保障制度が縮んで行く事に不安を感じる。国がしっかり面倒見てくれないと困る。 |
| 68 | 考えてもしょうがない。ホームに入る気もないから。 |
| 69 | 特別養護老人ホームに入らない。 |
| 70 | 認知症の夫と二人暮らし、夫は要介護3だが認知症症状が進み在宅の限界がきている。夫婦一緒に施設に入りたいが自分は要介護1のため現在8ヶ所(施設)問い合わせてもらったが全て断られている。 |
| 71 | (要)介護5でも施設入所は全く考えていない。必要な人に必要なサービスが利用できることを望む。 |
| 72 | 今でも入所したいのにどうして入れないのか？家族もいない人がヘルパー来るのも嫌だから一人でいるのにご飯を食べるのが精いっぱい。 |
| 73 | 今の所自分の出来る事は自分でして家族に迷惑をかけない様に生活しているが、94歳という年を考えると、体力もなくなり体調も悪くなるだろうと思うと老人ホームに入らなければならなくなった時に入れないことに不安に思う。 |
| 74 | なんとしても元気で暮らしていきたい。先の事はわからないが。 |
| 75 | 施設に入りたくても入れず困っている人が大勢いる。自分はまだ少しは身体が動くのでいいが、いづつどうなるか分からない。施設を希望しても入る事ができない環境は、非常に不安を感じる。 |
| 76 | 子供たちは世話ができなく(遠方)夫婦で要支援者なので共倒れになる。 |

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-③)

③特養入所の介護度による制限への不安・心配

- | | |
|----|---|
| 77 | 現実問題としては心配。 |
| 78 | そうなったときは息子さんが何とかしてくれると思うので…。家は誰にも気を使わなくていいです。可能な限りここで生活したいと思います。 |
| 79 | 心配したってしょうがない。決まったことはしょうがない。 |
| 80 | 癌が再発した場合は入院するしかないと思っている。姑さんを預けた時は月48万円かかっていた。世間体もある。(家で見ていないと言われる)在宅で自分の母も面倒を見て姑と夫と見たこともあり、何としても家で頑張りたいと思う。 |
| 81 | 今は想像できない。ただ必要な時に入所できず金銭的な余裕も無くなっていたら生きていけないでしょう…。 |
| 82 | それだけ大変な人を優先にということなんでしょうけど、自分でがんばってやっている人は介護度が低く出るから頑張らないほうがいいですね。 |
| 83 | 今のままが良い。 |
| 84 | 入所を必要としているのに、入れない場合の救いの手は整っているのか？
介護度を決める人は判断力をもっているのか？ |
| 85 | 足が悪く片足を引きづって歩いて息子家族は30分程のところにいるがもう70歳近くなり面倒見てもらえるかどうか困ったとの事。 |
| 86 | 介護度で捉えてほしくない、家庭の事情で介護度が軽くても必要な方もいる。それぞれの事情があり、生活があるのに、高齢者の生活を理解して欲しい。 |
| 87 | 考えたことはない |
| 88 | 良く分からないが、それぞれの立場で入所希望が出来ればよいと思う。 |

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-④)

④介護保険制度にかかわりなく困っていること、希望したいこと

1	タバコやめてから体調も良く、特には思いうかばない。ただ今日聞いた話(介護に関する改悪)については困ってしまう。今後何か話したいことがあればお話しします。とのことでした。
2	特に暮らしに関しても困ったことはないとのこと。
3	医療費、介護費などすべて安くなればいい。そうすれば週2(回)のデイサービス、往診、自費でのショートステイも利用できる。ショートステイを切られてしまった事は自分にとっても家族にとっても息抜きになっていたのもその時間が今はない。
4	入れ歯をなくしてずっとおかゆを食べていた。今日の日にながわからず通院を忘れてしまった。今の生活を維持していきたい。
5	病気が良くなりえずストレス、入れ歯が合わない、要支援の人がどこまで介護サービスが受けられるのか制度が変わるのか、よくわからなくて不安。
6	夏場は毎日お風呂に入りたい。夫が動けなくなったら生活できない。子供には頼れない。夫は最近ATMの操作がわからなくなってきて使えなくなってきた。
7	自分の介護度は維持しつつ、受けられるサービスの幅、内容の充実を期待。
8	今はまだ外出できるし買い物も行けるので困っていることもない
9	要介護から要支援になり、訪問リハとショートステイを中止とした。ショートステイは今迄月に3泊4日ぐらい利用し、嫁と本人間の休息になっていたため困っていると。自費で一泊するにしても、8,000円ぐらいかかると
10	自分や息子に急激な変化がおきた時に自分たちではどうにもならない、その時が心配。
11	買い物に行けない。自分でできない。駅まで行けない。バス停まで行けない。駅におりても店や病院・薬局まで行けない。毎回タクシーとはいかない。
12	支援であっても、体調の変化は日々あります。今後がとても不安です。今は配色サービスを利用しているので、このサービスの補助は続けてください
13	ヘルパーさんやデイサービスに通えているので今は困っていることはない。
14	どうしてこんなに介護保険制度が悪い方向に行くのか？理解できない。税金を無駄な所に使っていないのか？もう一度ちゃんと見直して欲しい
15	所得は超えても足が悪くてどこへ行くにもタクシー、病院代も月にかなりかかるし生活は苦しいのをわかってほしい。
16	今は週2回デイサービスに行っているので助かっている。自分から出かけるのが億劫になっている。買い物が不便。
17	息子が近くにいないので、具合が悪くなった時には食べることも一人ではできないので心配。救急車呼ぶほどではなくという時が様子を見にすぐに来てくれる人がいるといい。総額ではなく一人あたりの社会保障の費用は減っている。一人当りを減らさないでほしい。
18	一人暮らしなので具合が悪くなった時のことが心配です。
19	老いていく先の事が不安と。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-④)

④介護保険制度にかかわりなく困っていること、希望したいこと

20	高いところは届かなく、かがむのも大変なので、介護保険ではダメとされている窓拭きや網戸そうじ等もたまにはしてほしいと思っている。
21	身体が不自由になり病院等に通院していますので今後も介護を希望しております。
22	この様に変更されたとしても、その時の状況で入所させてほしい。
23	長年独りで頑張ってきたので、自分で出来る事はしようと思うが、外出できなくなった時には買い物に困ったりと心配事は沢山あります。
24	もっと使いやすいようになれば良い。介護保険で出来ないことなどわかりにくい。
25	弱者に厳しい状況だ。先行き不安になっている、不安だらけ。⇒先のことはあまり考えないようにしている。経済的に企業優先だが、一人一人が苦しくなったら意味がない。
26	独居なので今後が心配
27	トイレがお部屋の外にあり、共同。廊下、お部屋に手すりがない。階段昇降が大変。介護保険証違うものが4回も送られてきた。市役所の対応が悪い。国保料納入額が違うものが送られてきた。
28	サービスを使えなくて身体が弱って寝たきりになる人が増えると思う。早く死ねって言わんばかり、お金次第の世の中になっている。
29	年金は減るし介護保険も減られ不安です。生きていく事に不安を感じています。
30	これ以上しびれや痛みがひどくなったら今まで続けてこられた調理が出来なくなる。今の暮らしがいつまで続けられるか不安が強い。現状のサービスを内容を変えず続けさせてほしい。
31	困っていること:細かい事が出来ない(家庭の中での雑用)買い物ができない
32	困っていること:頑張って頑張って生きているが本当は困っている。希望したいこと:一人は寂しい、話し相手として毎週ヘルパーさんが来てくれるので楽しみにしているこのまま続けてほしい。
33	自分も透析をしながら夫(要介護1)の世話もしているから、一日一日大変な思いをしてやっている。
34	現在は生活できているのでそれ以上の事は望みません。
35	このまま支援を継続して欲しい。
36	通院だってままならない状況なのに…どうやって生活してくのか？外だって一人で自由に歩けないのに郵便局さえ行けない中一体誰が助けてくれるのか？それが国の役割なのに、ますます年寄りを姥捨て山にしている現状…国に期待出来ない。
37	長年住み慣れている地域での人のつながりがとても大切で現在はとても恵まれた環境だと思う。これからも自宅で過ごし続けていきたい。
38	独居なので病気の時に一緒に通院して欲しいです。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-④)

④介護保険制度にかかわりなく困っていること、希望したいこと

- | | |
|----|--|
| 39 | 今のところは、特に困っていることはない。 |
| 40 | ・独居、日々の料理が大変。週1回の1時間のヘルパーでは煮物を作ってもらって一食で終わってしまう。カレーなら何回か食べられるからカレーを作ってもらおう。・独身の息子が胃がんでOpeしたばかり。都内の病院に通う日々。・妻にも週1回ホームに会いに行くが、自分の事はかろうじてわかるが、他の親族がわからなくなり、みんな来なくなってしまった。 |
| 41 | 病気したり入院したりするとお金がかかるので困る。入院も施設も入らないといけない状態でも入れないので困る。 |
| 42 | 今の政治は戦争が始まるような仕組みが検討されたり、年金生活者も何だかんだとられて、オスプレイは自宅の上を飛び、首相は海外に金をばらまいている。これからの子供たちのためにも戦争をしてはいけない、今とめないとうとうもなくなる。今の若い者にがんばって欲しい。 |
| 43 | 今のままで続けていければ不満はない |
| 44 | 公のところからの経済的なフォロー(が必要)。お金のある人はいいいけど(きびしい)。 |
| 45 | 経済的なこと。
今は夫がいて、いろいろやってくれているけど、夫が倒れた時にどうしようか困る。 |
| 46 | 介護さん(介護従事者)が若くて生活が大変とよく聴く、負担が増えることは望まないが、収入アップできる様に考えて欲しい。 |
| 47 | 家族の訪問支援もあるので今の所困っていることはない。 |
| 48 | 一人で家に居るので、人と接する機会が欲しいが、人見知りもあったり足の筋力も長時間歩行できるほどなく紫外線アレルギーもあるのでデイサービスにもう1回位行ければ良いなと思っている。 |
| 49 | 足腰の痛みがひどいので通院することが多いです。ふらついて転ぶことも多いです。予防なので病院への付き添いをしてもらえませんか。付き添いをお願いしたいです。 |
| 50 | いつも心配事がある周りの人達からは心配なくて大丈夫と言われるが。自分の話を聞いてくれる人が周りにいてほしい。 |
| 51 | 今の生活で決して満足できる状態ではない。これ以上望んではいけないと思い我慢している。そんな生活の中でさらに厳しくなってしまうと思うと希望も無くなる。電動カートで新宿や都心へ行きたいと思う気持ちもあるが壁が高い。 |
| 52 | 日頃の暮らしで困っていること: 不要な物を捨てたいが片付かない。希望したいこと: 贅沢をしたい。 |
| 53 | 2000年介護保険がはじまった時の「介護を社会で見る」との約束はどうなったのか。 |
| 54 | 今の制度を使っているので安心している。この生活を続けていきたい。 |
| 55 | 質問に対しての答えは返ってこない |
| 56 | 健康になりたい。 |
| 57 | 娘との二人暮らしで自分の介護をするために娘が仕事をやめないとなくなったら、経済的にも心配がある。今の日常生活では困ったことはない。 |

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-④)

④介護保険制度にかかわりなく困っていること、希望したいこと

- | | |
|----|--|
| 58 | 先は長くないと思うが、金銭的に余裕も無く今後一人でどうなっていくのか心配「早く死ね」と言う事なのか、でも簡単には死ねないのよね。 |
| 59 | 老人ホームに入りたいが、それが商売になっているのでそういう点で不安だ |
| 60 | 医療費が無料になると…医療費が高い(数か所行っていると) |
| 61 | すぐに思いつかない。 |
| 62 | 体調が悪い時は本当に落ち込んでしまう。以前のように好きな料理を作って友達と一緒に食べたりしたい。 |
| 63 | 歩行に不安があり、通院も心細くなってきた。(緑内障もあり見えにくい)付き添ってくれる人がいると安心だがお金がかかる。 |
| 64 | ヘルパー利用(制度・内容)を充実したものにして欲しい。毎日毎日老いてゆくのに制度・内容が充実してゆくのではなく悪くなって行く事がとても不安。 |
| 65 | なつようにしかならないから心配していない。 |
| 66 | 訪問してくれるヘルパーによって料理が上手下手がありあまり食べたくないことがある。 |
| 67 | 訪問してくれる人によってオムツの当て方のうまい下手があり、モレがあった時など高齢の母の負担が増えるため、しっかり研修してもらいたい。 |
| 68 | 近所の人との付き合い |
| 69 | 通院の時など付き添いがあるといいと思う。(独居のため) |
| 70 | 本人は腰痛や膝痛でつかまり歩行をしている。ハタキかけ掃除前の片づけをしている。家族がいるので生活支援はできない。掃除をしてもらえないのは残念だ。ボランティアの仕事はわからない。 |
| 71 | 出来る事は出来るだけ自分でやるようにしているが、掃除は自分ではできない。掃除機を持ったり、お風呂場の掃除など負担が大きい。 |
| 72 | 老々世帯で何とか娘の協力を得て、通院のみできているが、娘も仕事も家庭があり、いつもいつも介護の協力できない。 |
| 73 | 定期の訪問診療のおかげで、安心して暮らせている。 |
| 74 | うまく考えていらっやんと思っている。来る人みんないい方なのでびっくりしている。とくに今のままで困っていることはこれと言ってない。 |
| 75 | 一日一回も話さないこともあり、1ヶ月に2～3回は昼食会があるので、できる限り出席するようにしている。次の会の約束をして別れるようにしている。ここ3年くらいつながっている。独り暮らしなので何から何までやらなければならない、子供達からはいろいろ気をつけるようには言われ、天井の電気の付け替えは娘婿や息子に頼むようにした。子供たちにとってはいつまでもお母さんでちっともいたわってもらえない。 |

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-④)

④介護保険制度にかかわりなく困っていること、希望したいこと

76	アンケートを取ったってしょうがない。無理してアンケートを作ったってしょうがない。無理してアンケートを作っている気がする、答えようがない、そんなすぐに答えを出せる問題でない。
77	自分でできる事はやっているつもり。友人もいるし、旅行やカラオケも行けている。心配で声をかけてくれる人も多いので生活は成り立っているが、年も重ねるので先々の心配、不安は常につきもの…と話す。
78	要介護1から支援2となり、入浴に時間が短くなってしまった(できる限り自分で入っているので、その分時間がかかるが、一人では入れず、ヘルパーさんが来てくれる場合には浴槽の掃除まで入れると時間が足りないので、結局入浴介助してくれる時間が減ってしまうので困っている)。
79	独居にため、食事をする際、味気なくて食欲がなくなってしまう。
80	現在住んでいる集合住宅に独居の方がいる。災害時の対応で守秘義務の壁があり個人情報も取れない。どんな状態の方、年齢の方が住んでいるのかもわからない、孤独死の心配もある。自分もどうなるか分からない、現在自分の不安はないが…。
81	今出来ていることを維持したいです。出来なくなったら調理です。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-⑤)

⑤聞き取りした職員の感想

1	今は家族が若く介護が十分に行われている方ではあったが、今後に不安が残るとのこと、これは私自身も感じることで介護度3の壁が高くなりそうだ。
2	現在は週に2回ヘルパーに来てもらって団地で一人で暮らしているが、今の状態を維持していきたいという望みは決して贅沢な望みでなく当たり前のことだと思う。今後の生活を心配しないで暮らしていけるように私も協力したいと思った。
3	独居の人がどう生活していくのか、家族が近くにいない場合頼れる人がいなくなってしまう。要支援の人の生活をちゃんと保障するべきだと思った。
4	老々介護。夫は自立した生活を送れるよう支援なしで必死に努力しながら頑張っている。
5	「自分はまだ若い、100歳までまだ4歳もある」という利用者さんの前向きな姿勢に感銘を受けた。エレベーター無しの住宅(団地3F)なので心配。
6	職員(自分自身)が改悪の内容を知らないと話せないと思った。医療の分の介護保険についてもレクチャーを受けたい。患者さんとしては”国のやる事に従うよ”という人なので、不安なども十分引き出せなかった。(反省、説明が悪かったのかな?)
7	要支援までUP⇒歩行が可能になったため仕方ないが、改善したことにより要支援になったため介護援助(リハ)は減り、歩行が困難になったとFaが話す。介護の矛盾が表れていると思う。本人様は聞き取りに対して話が出来てうれしいという。
8	対象者は経済的にも身体的にもギリギリの状況で息子と共に暮らしており、ヘルパー支援によって若干のゆとりが生まれている。ご本人が言うように「何とかなる」かもしれないが、家族全体への大きな悪影響が予想される。
9	家にあげる人々は身元がしっかりしていればよいが、他の不安が多く出てくる可能性が高い。お金のある人はよいが、ない人・生活ギリギリでやっている人々にはとても大きな負担になってしまう。
10	軽度者の方が在宅生活を継続出来るのは、今のサービスを使っているからこそ、なくなってしまう専門知識のない事業が介入することは介護度を上げてしまうであろうと思う。
11	今まで専門職に関わってもらい安心してサービスを利用していたが、一律に何の知識もないボランティアに任せることは不安が大きいと思う。
12	介護について、今後予定されているお話をしたところ、とても困った様子が見うけられました。週2のヘルパーの介入があるけれど、突然のケガや体調不良により急にきて欲しいこともある。今は外が暑いので買い物も我慢してしまっているとのこと。専門の方であるヘルパーさんが来て手伝ってくれることへの安心感もある様なので、それがボランティアの方が行うようになってしまうことによる心配も考えられる。HOTを使っている方なので扱いについてもしっかりと知識のある職員が対応する方向が良いのではないかと感じました。 人に迷惑をたくさんかけるなら、ぼっくりいった方がいいとおっしゃっていたので、今後ボランティアに移行し人員が十分に獲得できなかった場合”申し訳なさ”というものの心どこかに浮かんでしまうのではないかとということも懸念されます。
13	今現在はヘルパーが援助に入る事で自分も少しは動かなければと頑張っているが、援助が無くなると困難な部分が出来なくなるだけでなく、張合いもなくなってしまうと思いました。
14	だんだん出来なくなっていく事を感じている様なのです。不安を感じて精神的に落ち込むことがあると思います。
15	ご自分でもボランティアをされていたそうですが、感情的な部分やつき合いに苦勞されたようです。経済的に大変な場合にはどうすれば良いのか?大変気になりました
16	今の所は病も進行がおそく、外出等もされていますが、独居なので、介護ヘルパー等のサービスで見守り等にもなるので心配化と思われた。
17	現在の介護サービス利用だけでは不十分。安心、安楽に生活していけない。もっとケアマネが介入すべき

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-⑤)

⑤聞き取りした職員の感想

- 対象の患者様は、特に生活に困った様子もなく、気になることもないと仰っている方でした。最初にお話をした際は、特に困った顔もされなかったのですが、質問の項目を一つ一つ掘り下げていく度に”それは困る””負担は軽いにこしたことはない”などの発言がありました。今回2つのお宅に伺いお話をさせて頂いたのですが、どちらも共通して、この問題を知らなかった事に驚きました。
- 18 当事者への知らせがはっきりしない中、案だけがどんどん進んでいき実施される、案内入っているかと思いますが、お年寄りの方に分かりやすい文章で書かれているとは考えにくく、とても理解しやすいものではないと感じます。本人たちの知らないところで話がすすみ、急に負担が倍になったり、ヘルパーさんが自治体運営のものになったりと、患者さまの身体的・精神的な負担は大きくなるのではないかと考えます。
法案が通った以上今後の在り方について周知し、不安を減らすことは難しいかもしれませんが、心の準備のようなお手伝いが出来ればと思います。
- 19 実際の所、日々の生活は厳しくなるのではないかと考えます。
- 20 ボランティアの金額を一番気にしていました。老人はこれからどうやって生きて行ったらいいのか、利用者共々考えさせられる。
- 21 ヒアリングをした方は要支援ではあるが、透析に通いながらご主人(要介護1)の世話もしている。調理の際も包丁が握れない等日常生活の上で出来ないことが増えてきている。サービスが使えなくなったら、たちまち生活に支障をきたすと思う。
- 22 たんに部屋の掃除程度のケースは本人のやる気の問題な場合が多いと感じました。
- 23 今迄のサービスが利用できなくなることにより、精神的不安が大きくなると懸念されます。
- 24 ご本人の言うとおり、自分の行き場が何処にあるのか不安だと思った。
- 25 年金生活をされている方はつましく生活されている。今の状態からまだお金のかかる制度になるとどうやって生活していくのか？とても心配。また、サービスを利用して何とか生活が成り立っているのにサービスが使えなくなった時老々介護でどう支え生活していくのか？地獄だと思った。
- 26 自宅で倒れ訪看の緊急コールで発見されるというエピソードが2回ある方。今でも自分で買い物に行けず、食事がとれなかったり、自分で入浴はきびしいので、デイで、という対応で何とか生活しているのに、一人での生活は続けていく事は難しくなると思います。でも施設にも入れない…となると自宅で冷たくなっているのを発見するパターンでしょうか…
- 27 制度が変わることをご存じなく、いつから？それは困るねという感想であった。今の状態でなら成り立っている生活が、負担が増えたり、サービスの内容や質の低下によって、生活の質が下がってしまう心配があると思う。この方は認知もなくしっかりされているが、例えば節約のために外出を抑制したり、デイサービスやヘルパーをやめてしまったら刺激が減り、認知機能の低下や気力の低下につながるのではないかと心配になる。
- 28 不安をあおっての聞き取り結果ありきのヒアリングだと思います。
- 29 給付の仕組みが変わる点を含め、活動する自治体、保険者との連携や、意見交換を密に図り、利用者側に責任をもって説明できる様にケアマネジャーがもっと制度改革のポイントを理解していくべきと思う。移行期間中でサービスの創出を促していける様、地域のネットワークを活用していく。
- 30 東京都ではそれぞれの事業所が新たに自治体の指定を受ける形で今までの事業所が継続して対応できるので影響はないと思う。地方の過疎地においては元々社会資源のサービスが不足している中で撤退の不安や一般財源がつかない時利用できる人の制限などの問題が出てくると思う。
- 31 専門職が入ることによって安定している方ですのではずされることは厳しいと思います。
- 32 要支援の人は、今現在は自分の事ができているので今後の介護やお金の心配はあるとはいえ、日常生活の不安は切実ではない。今後高齢者が増々増えていく中で介護給付はずしは高齢者の不安・負担が大きくなる。

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査 調査報告(3-⑤)

⑤聞き取りした職員の感想

33	この利用者様がお話していたように、何に[関]しても事前の説明が無く、あっても理解が難しいと思いました。3-①にも関わりますが、業務を委託していくのですが、本当に今まで通りのサービスを受けられるのか、介護保険から費用が出なくなると利用料はどうなるのか気になりました。現在でも安心して生活出来るだけの必要なサービスを受けられているとは思えないのに、これ以上ひどくなってしまうのでは無いかと心配になりました。
34	利用者本人が記載してくれました。独居でしっかりされていますが、一人で買い物に行けません、今後お金を使って頼むようになるのかと思うと、お金持ちしか生活できないなあと思いました。
35	子供2人と同居なので、それ程お金に困っているわけではありません。しかし、寝たきりになったら娘さんも見れないと言っているの、介護3がでないと施設に入れないのでは、誰にみてもらえるのか心配
36	本人が感じているように今以上に室内にこもりがちになると思う。ヘルパーとの会話がいかに精神的な安定をもたらす環境整備に役立っているか、実際に訴えられて痛感した。人と人との触れ合いが必要なんでしょう。
37	サービスが使えなくなってボランティアを受け入れられる方は良いが、受け入れられない方は重症化(要介護状態)の怖れがあるのではないかなと思う。
38	やってみなければわからないし、決まってしまったものはかわらないという思いがあり、言っても仕方ないという反応でした。
39	今の所94歳という高齢なのですが、出来る事は自分でしなければととても前向きに考えて生活していますが、知力体力も衰えてきたり病気になった時の事を考えると、専門職以外の人のボランティアに任せるのは疑問に思われ介護制度の見直しが必要だと思います。
40	週1回の訪問でも本人と一緒に動く事が出来、リズムが出来、生きる目標があるように思います。単に掃除だけと思うが、ヘルパーの問いかけがあり、報告があり、守られていたと思う。
41	もともとあって利用していたサービスが変更されたりなくなったりすることは生活に直結しているので簡単になくせないものだと思います。
42	聞き取りをしていて、書面や口頭で説明はしましたが、あまりイメージがわからないような印象を受けました。お年寄りにもわかる方法で説明することは大切だと思いましたし、実際になってみて安心してすごせるサービス体系が新たに出来るといいと思いました。
43	疾患を持ちながらも自立した生活を送っている要支援者だが、いつ何時どうなるか分からない状況下であるのは間違いない。それなのに、利用できるサービスを保険から外し、サービス利用する際の条件を狭くしてしまい、安心して生活を送ることが不可能になると感じた。
44	介護保険のように定期的・継続的な支援でなくなるとは困る補足的な意味合いでは、今でもボランティアの活用を求めている方はたくさんいるが、供給や質が問われていると思う。ボランティアの育成に(国が)責任をもって取り組んでもらえるのか疑問。
45	ボランティアさんを活用することの難しさは日頃から感じている。その辺のコーディネート、クレーム処理も全てサービス提供責任者やケアマネジャーで対応していくことを考えると大変、心配。
46	サービスが使えなくなった時、それに代わるサービスを利用する際の体制、料金設定、例えば通所サービスならば送迎はあるのか等、整っていないのでは、と不安。

【資料：聞き取り調査票】

要支援者の介護給付はずしヒアリングシート

聞き取り日：2014 年 月 日（ ） 聞き取り者（ ）：職種（ ）

聞き取り事業所（ ） サービス種別（ ）

対象者 性別 男 ・ 女 介護度 要支援 1 要支援 2 要介護（ ）
世帯 独居 ・ 老々 ・ その他

利用しているサービス（わかる範囲で）

--

聞き取り内容（4つの質問事項で利用者さんの声を記入して下さい）

①訪問介護（ヘルパー）、通所介護（デイサービス）がボランティアさんなどで提供される仕組みに変更されることに心配や不安はありませんか

②自己負担のお金が2割になった場合の心配や不安を教えてください

③特別養護老人ホームは原則「介護度3」以上の人しか入所できないことになった場合の心配や不安を教えてください

④介護保険制度にかかわりなく、日頃の暮らしで困っていること、希望したいことを教えてください

※その他心配や不安については裏面に記入してください

聞き取りをしての感想、サービスが使えなくなった時に心配に思うこと（職員記入）

--

『「要支援」者の予防給付はずし』にかかわる利用者への聞き取り調査報告書

2014 年 12 月 27 日 発行

健生会・地域福祉サービス協会「聞き取り調査」プロジェクト

社会医療法人社団 健生会

畑中 久明

杉崎 健一

岡崎 いづみ

澁谷 直

時山 勝

小笠原 真次

特定非営利活動法人 地域福祉サービス協会

三井 亨

調査プロジェクト事務局(健生会介護事業部)

清水 由美子

連絡・問合せ先

社会医療法人社団健生会 社保組織部

住所 〒190-0022 東京都立川市錦町 1-23-25 健生会錦町ビル 3 階

電話 042-526-4136